

ありがとう 緑のぬくもり 人へ社会へ

あなたとJAを結ぶ情報誌

やめいまり





「いろんな品種をつくってみたいです」

南波多町

(ぶどう
100アール)

山口 和仁 さん (58歳)

やまぐち かずひと

品種ごとに味も食感も違う楽しさがあるぶどう。JA伊万里管内で栽培されるぶどうは、伝統の『巨峰』から人気の『シャインマスカット』まで、はずれのない高い品質が自慢です。今回は山口さんの圃場を訪れ、ぶどう栽培の魅力などについて伺いました。

——ぶどうの栽培を始めたきっかけをお聞かせください。

父親がぶどう栽培をしていたこともあり、高校卒業後、つくばの試験場で2年間の研修を受け、帰郷しました。そのまま父の家業を継ぎ、ぶどう栽培を始めて38年になります。父の代では巨峰が主力でしたが、現在はシャインマスカットが中心で、ピオーネや巨峰、クインシーナなど、さまざまな品種を栽培しています。

——ぶどう栽培で特に気を遣うことや難しいことはありますか？

ぶどう栽培で気を遣うのがジベレリン処理です。特に1回目の処理は限られたタイミングで行う必要があります。時期を誤ると粒の大きさや房の仕上がりが大きく影響します。私はぶどう以外に梨、もも、柑橘類も栽培しており、春から秋にかけて作業が重なる時期は特に多忙です。限られた人手で複数の果樹を管理するには、経験と臨機応変な判断力が欠かせません。

もくじ

contents

- レッツ!!園芸-888 2~3
- 表紙紹介 孫はかわいか 4
- ニュース&トピックス 4~6
- 第61回 通常総代会..... 7
- 役員就退任の挨拶..... 8~9
- 新理事・監事の顔ぶれ 10~11
- 8月の農作業だより 12~13
- 市場レポート、家庭菜園 14
- 理事会報告、インフォメーション 15
おくやみ
- クロスワードクイズ 16
インフォメーション
ホームページ8月の「プレゼント」の紹介
- ナイスガイ 17
おじゃましま〜す女性部
- 女性部&食育活動 18
フォトギャラリー
- 直売所コーナー 19
食育活動フォトギャラリー(田植え)
- インフォメーション 20

8月の行事

event

- 1~2日 幸水梨まつり
- 10~12日 直売所お盆売り出し
- 15日 南波多納涼夏祭り
- 19~20日 廃ビニール・廃プラスチック回収
- 20日 フルーツ観光農園開園式
- 25日 組合員訪問日
- 29~30日 暮らしの応援イキ活きフェア
- 29~30日 豊水梨まつり

※予定のため、変更の可能性あります。

——品目として、ぶどうの魅力は何でしょうか。

粒が大きくて、きれいなものができたときは感動します。手をかけた分だけいいものができるということを実感します。また、植えてから早期に収穫できる(植えて3年目)ことや、出荷時期のズレを想定して4品目のぶどうを栽培することで、収入面でも時期が片寄らずメリットがあります。

——ぶどう栽培に関心がある方に一言お願いします。

昨今の資材価格高騰の影響もあり、ゼロから始めるにはコスト面で難しいこともあります。中古施設を活用することで初期投資を抑えたスタートは可能です。部会に入れば、さまざまなサポートを受けることができます。やりたい気持ちがあれば栽培に向けた準備を進めるなど、ぜひ行動に移してみてください。



さが園芸888運動

チャレンジ! 活気あふれるさが園芸へ

さが園芸888運動

さが園芸888運動は、生産者やJA、行政等関係機関が連携し、令和10年度までに県内の園芸産出額888億円を目指す運動です。各種支援対策を通じて「稼げる農家」を増やし、さらに、それを目指す新たな担い手が確保されるという好循環の創出により、本県農業生産の拡大と生産者の所得増大を目指します。

※推進事業の支援内容や詳細な要件等は、JA、市町等にご確認ください。



▲選果前に出荷基準を最終チェック



▲選果前に執り行われた神事

「幸水」皮切りにリレー出荷

伊万里梨初選果

J A伊万里は7月3日、令和8年産伊万里梨の出荷を開始しました。当日は、ハウス栽培の「幸水」約1・2トンが伊万里梨選果場（大川町）に持ち込まれ、選果作業員が形や傷を確認したのち、光センサーで糖度や熟度を計測し、梱包され出荷されます。初選果に先立ち、高値祈願と集出荷貯蔵施設の安全操業を願う神事も執り行われ、田代直樹組合長は「1個でも多く出荷し、高値で販売していこう」とあいさつしました。出荷は「豊水」「あきづき」「新高」などとひとリレーし、11月まで続きます。



▲形や傷を丁寧に確認

表紙紹介

孫はかわいいか



♡お孫さんの紹介

陽葵ちゃん……ゲームが好きです。スマホで絵を描くことが楽しいです。オリジナルキャラクターもつくれます😊

陽夏ちゃん……お友達と遊ぶことが楽しいです。ピアノがんばります♪

紬衣ちゃん……かわいいシールを集めています。✧うたって踊ることが好きです💕

♡お孫さんからおじいちゃん・おばあちゃんへメッセージ

いつもお出かけに連れていってくれてありがとう。

いっしょにお出かけが楽しいです💕

これからもよろしく願います。

♡陽葵♡陽夏♡紬衣より♡

♡おじいちゃん・おばあちゃんからお孫さんへメッセージ

仲良く笑い合い、ときには けんかしても お互いを思いやる気持ちは忘れないで欲しいです。一年一年成長を楽しみにしています。

伊万里市南波多町

ひまり
辻 陽葵ちゃん（9歳）

ひなつ
陽夏ちゃん（9歳）

つむぎ
紬衣ちゃん（3歳）

祖父 辻 泰寛さん

祖母 泰子さん



牡羊座【全体運】夏ならではのレジャーを楽しむと運気がアップ。人の和を大切に。出会いが日々を豊かにします。旅行が吉
(3/21~4/19) 【健康運】体調の変化に敏感に対処して。外出時には帽子を 【幸運を呼ぶ食べ物】 エダマメ

新鮮なぶどうを消費者へ



▲挨拶をする古野部会長

JA伊万里ぶどう部会(古野清治部会長)は7月13日、本所で令和8年産ぶどう出荷販売会議を開きました。8年産の販売目標として数量60トン以上、金額7500万円以上、キロ単価1250円以上を目指します。会議では、猛暑に負けず安全・安心な高品質ぶどうを維持することや、集荷一元化による効率的な体制整備などが話し合われました。古野部会長は「新鮮で安心、安全な伊万里のぶどうを消費者へ届けよう」と力強く呼びかけました。

農業士と就農候補者との意見交換会

次世代担う若者と農業士が交流

伊万里・西松浦青年農業者対策協議会は7月10日、「佐賀県農業士と就農候補者との意見交換会」を開催しました。学校では学べない実践的な農業の魅力を伝える催しで、伊万里実業高校、佐賀農業大学の学生10名と農業士ら31名の計41名が参加しました。はじめに、南波多町内の梨園場で農業士の齋藤輝光氏が果樹栽培と経営について解説し、続いて南波多支所で意見交換を行いました。参加者からは就農意欲の向上につながったとの声が上がりました。



▲現地で説明する齋藤農業士④



▲意見交換を行う農業士と学生

目標達成へ向けて意思統一



▲目標達成に向けてガンパロウ三唱をする部会員

JA伊万里梨部会(丸尾正秋部会長)は6月30日、本所で令和8年産伊万里梨出荷販売会議を開きました。物価や生産・出荷経費の高騰など深刻な状況が続く中、会議では強固な連携による価格転嫁を進め、安全・安心な梨づくりでブランドの信頼性を高める方針を確認。早期出荷によるプライスリーダー、計画的な出荷体制の確立を目指し、販売数量2000トン以上、販売金額13億円以上の目標達成を申し合わせました。

無人ヘリ安全祈願祭

安全祈願で始動

JA伊万里は7月9日、果樹特産センターで令和8年度無人ヘリ安全祈願祭を執り行いました。これは農家の労力支援対策として実施している受託作業事業の一環で、産業用無人ヘリコプター6機で7月中下旬～9月上旬まで水稲・大豆の病害虫防除を行うものです。田代組合長は「厳しい暑さの中での防除作業になる。体調管理に十分留意し、事故やけがないよう取り組んでほしい」と激励しました。



▲神事(お祓い)の様子

レディースカレッジ「母ちゃんの知恵袋」開校式

野菜ソムリエ直伝、夏を乗り切る母ちゃんの知恵



▲野菜ソムリエ古川氏と調理に取組む部員ら

JA伊万里女性部（黒川茂美部長）は6月22日に本所婦人の家で、レディースカレッジ「母ちゃんの知恵袋」の開校式を行いました。部員12名が参加し、野菜ソムリエプロ・古川朋子氏を講師に「夏野菜をおいしく食べる簡単ごはん」の料理教室を行いました。班ごとに「豚肉と夏野菜のフライパン蒸し」「丸ごとトマトのだしマリネ」など5品を調理し、試食では参加者から「家でも作りたい」との声が上がリ、夏を乗り切る知恵を学ぶ時間となりました。

女性部「支部長・班長研修会」

魅力発信と学びの一日

JA伊万里女性部（黒川茂美部長）は7月5日、本所で「令和8年度支部長・班長研修会」を開催し、部員・JA役職員195名が参加しました。冒頭、黒川部長が展示の作業服と長靴を試着し、魅力と機能をPRして会場を沸かせました。続く研修では、JA長崎西海女性部の永田美穂氏が「女性部って何？ 女性部活動って何？」をテーマに、具体的な取り組みや体験を紹介しました。その後、一押し商品の紹介や組合員向けアプリ「JAコネクト」の導入・操作講習も行われ、参加者は熱心に聴講しました。



▲挨拶の際、作業着のPRを行った黒川部長

農業用廃ビ・廃プラ類の回収について

毎日の農作業大変ご苦労様です。

廃棄物処理法では廃棄物を適切に処理するようになっている事から、これを機会に保管されている廃ビニール・廃プラスチックの処理をお願いします。

記

1. 回収期日 令和8年 8月19日(水)・20日(木) 2日間
(支所別回収日程及び回収場所)

営農センター	回収場所	回収日	回収時間	対象地区
東部 南波多・北部	みかん 撰果場	8月19日(水)	9:00～12:00	大川・松浦・波多津
			13:00～15:00	南波多・黒川
南部 中部・西部	南部営農 センター	8月20日(木)	9:00～12:00	西有田・曲川・有田・大坪・大川内
			13:00～15:00	東山代・山代・二里・伊万里

2. 処理費用

1kg当り 71円

(重量は回収場所の計量器にて計測します。)

3. 回収しない物

古農薬、農薬容器、ガラス、ゴム（ベルト・タイヤ類）、木材、金属 等

4. 注意事項

① JA伊万里より購入された資材等に限ります。

※回収要領に反するものについては、持ち帰りをお願いする場合があります。

② 泥やゴミは必ず払い落とし、草木片や小石等の異物が混入しないようにお願い致します。

1梱包20kg程度を目安に、同種の紐でしっかり梱包して下さい。

③ 品目毎に必ず仕分けし、塩化ビニールとポリエチレン資材を確実に仕分けて下さい。

(ビニール類・ポリ類・プラスチック類)

④ 大変混雑が予想されることから、支所別回収日程・回収場所・時間に合わせ搬入下さい。

⑤ 搬入中の道路への落下など荷崩れ防止に努めて下さい。

⑥ 回収会場への搬出の際は「産業廃棄物収集運搬車」車輛表示をお願いします。

5. 搬入時の提出書類について

① 農業用廃ビニール処理申込書兼委任状

※事前に最寄りの支所にお尋ね下さい。

令和8年7月 JA伊万里 生産資材課



第61回 J A伊万里通常総代会



令和7年度の業務報告と、向こう1年間の農協事業の方向付けを行う第61回通常総代会が6月26日、JA会館で開かれました。

議事では令和8年度の事業計画など7議案を協議。全ての議案において賛成多数で可決承認されたことに伴い、JA伊万里は8年度事業へ新たなスタートを切りました。

表彰式

表彰式では、地域農業振興に功労があった3人に農業振興功労賞が、生産部会等の活動にご尽力いただいた9人に組織功労賞が贈られました。

【農業振興功労賞】

◆橋口晴喜氏（木須町）

◆井本重一氏（南波多町）

◆田口敬一郎氏（大川町）

【組織功労賞】

◆キウイフルーツ部会

◆落合謙一氏（大川町）

◆アスパラ部会

◆清水賢一氏（有田町）

◆生産組合

◆岩永嘉之氏（有田町）

◆女性部

◆山口仁恵氏（松浦町）

◆山本茂子氏（山代町）

◆中島かつ子氏（大坪町）

◆小島利津氏（黒川町）

◆大坪由美子氏（大川町）

◆陣内智子氏（有田町）



▲組織功労賞受賞（女性部）左から山口さん、山本さん、中島さん、小島さん、大坪さん



▲組織功労賞受賞の清水さん⑤、岩永さん



▲農業振興功労賞受賞の橋口さん⑥、井本さん⑦、田口さん

開会・組合長挨拶

第61回通常総代会は6月26日午後1時30分、総代439名（本人出席306名、代理人出席8名、書面出席125名）が出席し開会しました。

開催にあたり挨拶した田代組合長は「農業を取り巻く環境は一層厳しさを増しており、生産資材の高騰・労働力不足・気候変動の影響など農家経営にとって依然として厳しい状況が続いています。当組合として、地域の声に真摯に耳を傾けながら、組合員の皆様と共に地域農業の基盤を守り、次世代へとつなぐ責任をはたしてまいります」と述べました。

議事・閉会

議長に西有田支所管内の木寺邦広さんが選出され議事に移りました。第1号議案は令和7年度事業報告および剰余金処分案について、第2号議案は第7次中期経営3ヶ年計画について、第3号議案は令和8年度事業計画の設定及び関連事項について、それぞれ審議。出席した総代からの質疑に対し、役員や担当部長らが答弁しました。

第4号議案以降も慎重に審議が行なわれ、全議案とも賛成多数で原案通り可決承認されました。最後は出席者全員で万歳三唱を行い、閉会となりました。



▲議長を務めた木寺さん



▲出席者一同で万歳三唱

役員改選

新体制で新たな飛躍に臨む

6月26日に開かれた第61回通常総代会の第6号議案で、向こう3年間、J A伊万里の運営にあたる新役員の選任が行われ、理事17名、監事3名が決まりました。

総代会終了後、理事会と監事会が開かれ、代表理事組合長に田代直樹氏（大川）が再任され、代表理事副組合長に藤一郎氏（西有田）、常務理事に津上良範氏が就任しました。また、代表監事に力武健一氏が就任し、常勤監事に前田豊氏が再任されました。

就任の挨拶



代表理事組合長
田代直樹

盛夏の候、組合員の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。

この度、第61回通常総代会において第22期理事に選任いただき、その後の理事会におきまして、代表理事組合長に再任されました。改めて、その責任の重さを痛感するとともに、初心を忘れることなく、今後3年間、J

A運営の先頭に立ち、全力で職責を果たしてまいりて所存です。

現在、農業を取り巻く環境は、高齢化や担い手不足による生産基盤の弱体化に加え、肥料・飼料・燃料など生産資材価格の高騰が続く、農業経営は一段と厳しさを増しています。また、ウクライナや中東情勢の不安定化、自国優先主義の広がり、さらには大規模な自然災害の発生などにより、食料や飼料、肥料、燃料などの安定的な輸入にも大きな影響が及んでいます。

こうした中、国民の食料を安定的に確保する観点から、改正「食料・農業・農村基本法」におい

ても、平時からの食料安全保障の強化が重要な課題として位置付けられています。同時に、生産コストの上昇を適正な価格へ反映することについて、消費者・国民の理解を深める取り組みも一層求められています。

このような状況だからこそ、JA伊万里は自己改革をさらに推し進め、「伊万里ブランド」の確立による地域農業の発展と、豊かで暮らしやすい地域社会づくりに貢献してまいります。また、「金利ある世界」への転換という経営環境の変化にも確実に対応し、健全な経営基盤を維持しながら、地域の皆様からより一層信頼されるJAを目指し

て、役職員一丸となって取り組んでまいります。

とりわけ、持続可能な農業を実現するためには、担い手や新規就農者の育成・確保が最も重要な課題であると考えています。伊万里・有田地域の農業を次世代へ確実につなぎ、さらなる発展を図るため、組合員の皆様と力を合わせながら誠意取り組みでまいります。

今後とも、皆様のご理解とご支援、ご指導・ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



代表理事副組合長
藤一郎

盛夏の候、組合員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度の第61回通常総代会において理事再任をいただき、理事会において代表理事副組合長という重責を拝命いたしました。身に余る光栄に存じますとともに、その責任の重さを改めて実感して

おります。

近年、農業を取り巻く環境は、中東情勢の不透明化による資材価格や燃料価格の高騰、気候変動に伴う自然災害の頻発、さらには農業後継者不足など、大変厳しい状況が続いております。

このような時代だからこそ、JAは組合員の皆様から最も信頼され、頼りにされる存在でなければなりません。「農は国の基なり」と言われるように、農業の果たす役割は今後ますます重要になってまいります。動植物の命によって私たちの命が支えられる「生命維持産業」としての農業は、その価値と使命がこれからも一層高まっていくものと確信しております。

私は、組合員の皆様の声にしっかりと耳を傾け、現場主義を基本に据えながら、営農・経済・金融・共済の各事業が一体となって、地域農業の発展と組合員の所得向上に全力で取り組んでまいります。

また、役職員が一丸となり、変化を恐れることなく、新しい時代に対応したJAづくりを進め、

次世代へ希望ある地域農業を引き継いでいけるよう、力を尽くしてまいります。

微力ではございますが、誠心誠意、職務を全うする覚悟でございいたします。今後とも、組合員の皆様のご指導、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。



常務理事
津上良範

組合員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。この度、第61回通常総代会におきまして理事に選任され、金融共済担当常務に就任いたしました。身に余る重責に、身の引き締まる思いでございいます。

現在、農業およびJAを取り巻く情勢は、頻発する異常気象による甚大な被害に加え、緊迫する世界情勢や円安の影響など、かつてない厳しい局面に直面しております。



特に、生産資材の原材料の多くを輸入に依存していることから、資材の高騰が農家経営に大きな打撃を与えており、一刻も早い状況の改善が強く望まれるところでございます。

このような中、金融経済事業におきましても、日銀の金融政策転換に伴う市場金利の上昇や、それに伴う有価証券評価損の増加など、経営環境は一段と厳しさを増すものと想定されます。JA伊万里は、今後とも「安心して農業を続けられる地域づくり」と「豊かな暮らしの実現」に向けた自己改革を推進し、組合員・利用者の皆様、そして地域社会に貢献できる事業展開と、収益性の改善に向けた取り組みを徹底してまいります。

組合員の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、就任の挨拶とさせていただきます。



常勤監事
前田 豊

盛夏の候、組合員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度の第61回通常総代会におきまして監事に選任され、その後の監事会において第22期の常勤監事として就任いたしました。

現在、農業を取り巻く環境は、高齢化や担い手不足、生産基盤の縮小に加え、国際情勢の不安定化や円安、物流コストの上昇に伴う生産資材（肥料・燃油・飼料等）の高騰など、依然として厳しい状況にあります。このような中、JAにはさらなる自己改革と事業改革が求められており、持続可能な農業経営の実現に向け、組織一丸となって取り組む必要があります。

このような変革期において、監査面における「内部統制の整備・運用」は一層重要性を増しており、常勤監事としての職



責の重さに、身が引き締まる思いでございます。今後のJA伊万里の健全な発展に向け、常勤監事としての役割と責任を深く自覚し、コンプライアンス態勢の確立・強化、不祥事の未然防止、ならびにリスク管理態勢の整備に努めてまいります。そして、組合員の皆様の負託に全力でお応えし、より信頼されるJAづくりに貢献する所存です。組合員の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、就任の挨拶といたします。

退任の挨拶



前代表理事副組合長
田中正昭

盛夏の候、組合員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度の第61回通常総代会において任期満了に伴い代表理事副組合長を退任いたしました。

顧みますと平成29年6月の第52回通常総代会において理事に就任以来3期9年間、そのうち令和2年6月以降は、2期6年間代表理事副組合長としてお世話になりました。在任期間中は、地域農業の発展と組合運営の安定化に向け微力ながら取り組んでまいりましたが、ひとえに組合員の皆様、関係各位のご支援ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

農業・JAを取り巻く環境は、生産・出荷資材

や燃料価格の高騰、農業人口の減少等依然として厳しい状況にあります。JA伊万里が地域の基盤として更なる発展を遂げ、組合員・地域の皆様の期待に添えていくことを心より願っております。

結びになりますが、組合員皆様の益々のご健勝と地域農業並びにJA伊万里の発展を心よりご祈念申し上げます。



前常務理事
前川 繁利

盛夏の候、組合員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度の第61回通常総代会におきまして、常務理事を退任致しました。2期6年にわたり、組合員の皆様をはじめ役職員並びに関係者の皆様には大変お世話になりました。厚くお礼申し上げます。

農業・JAを取り巻く情勢は、農業者の高齢化、農業従事者の減少による

生産基盤の弱体化が危惧され、特に日銀の金融政策転換における金利のあがる世界への回帰に伴う競争激化は、信用事業・経済事業の収支悪化によるJA経営への影響が懸念されます。また、長期化するウクライナ戦争や中東問題など不安定な世界情勢は、農業の生産現場はもとよりJA事業に大きな打撃を与えてきています。このような環境下でこそ、JA伊万里は更なる自己改革を進め、信用・経済事業収益減少対策とけた取り組みを通じて組合員・利用者の信頼を確保し、財務基盤の充実を図ることが重要です。今後は、非常勤理事として地域農業の振興と組合員・利用者の信頼に堪える内部管理の強化のため、微力ながら貢献できればと考えています。最後になりましたが、組合員の皆様のご健勝と地域農業の発展を祈念し退任の挨拶といたします。



新理事・監事の顔ぶれ

役割分担は次の通りです。

◎は委員長、○は副委員長

筆頭理事

岩 永 統

総務・金融経済委員会

◎岳 川 淳彦 ○前 川 繁利
岩 永 雅弘 山 口 規
一番ヶ瀬 巧 石 部 良 征
中 島 泰 晴

営農畜産・経済委員会

◎坂 本 国重 ○山 口 仁恵
岩 永 統 富 永 橋 一 正 宏
大久保 久美子
清 水 賢 一

伊万里青果市場

取締役会長 田 代 直 樹
取締役 前 川 繁 利
監査役 岳 川 淳 彦
監査役 岩 橋 一 正



岳川 淳彦
(有田)

- ①穀類・農政
- ②JAに全面的に協力し地域の農業振興に努めています。

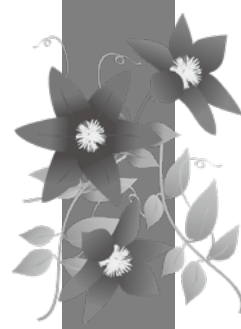


岩永 統
(南波多)

- ①梨・ブドウ・モモ
- ②組合員の農業経営の向上と後継者が残る農業ができるよう努力します。

《理 事》

(カッコ内は選出地区)
①組織部会担当 ②所信



坂本 国重
(黒川)

- ①胡瓜
- ②組合員の営農・生活の安定と向上を目指し、信頼されるJAの事業運営に努めます。



前川 繁利
(波多津)

- ①生産組合・集落営農・中山間地対策
- ②地域農業の振興及び組合員、利用者と地域に貢献できる事業展開を図るとともに、持続可能な経営基盤の確立・強化と堅実な事業運営・財務の健全化に向け、役割と責任を果たします。



岩永 雅弘
(山代)

- ①特産(茶、しいたけ、花木、小菊)
- ②組合員のための事業運営と体制づくりに努め、中山間地域農業の活性化と未来のある農業振興に取り組みます。



岩橋 一正
(二里)

- ①小ねぎ・みず菜・青年部
- ②地域農業の活性化と農業所得向上のため、組合員の意見や要望に応え健全なJA運営に取り組みます。



天秤座【全体運】コミュニケーション運が活発に。うれしい申し出も多そうです。誘いはできるだけ参加を。触れ合いの中で得る物も(9/23~10/23)【健康運】体調を崩しがちかも。無理せず休憩を入れて【幸運を呼ぶ食べ物】オクラ



一番ヶ瀬巧
(東山代)

- ①穀類・農政
- ②組合員の為に努力します。



山口 仁恵
(女性部)

- ①女性部・助け合い組織・直売所
- ②女性部の声(意見、要望)を聞き、女性部の活性化と生活向上を図るためにJAとのパイプ役として努めます。



大久保久美子
(女性部)

- ①女性部・助け合い組織・直売所
- ②組合員の生活向上を図り、女性部の組織の活性化に努めます。



山口 規
(松浦)

- ①梨・ブドウ・モモ・梅
- ②持続可能な農業を目指し、組合員・地域に信頼される事業に取り組み、健全なJA運営と経営基盤の強化に努めます。



清水 賢一
(西有田)

- ①アスパラ
- ②「農家が潤えば、JAも潤う。」をモットーにJAの事業運営に努めます。



富永 和宏
(大川内)

- ①いちご・柑橘・キウイフルーツ
- ②今、農家、農業は何が必要なのか。JAに何が必要なのかを、意見を聞き職務に努めます。



中島 泰晴
(大坪)

- ①畜産・玉ねぎ
- ②厳しい農業環境の中、農業所得の向上と持続可能なJA経営の確立に努めます。



石部 良征
(伊万里)

- ①畜産
- ②組合員の農業所得向上、JA伊万里の健全経営、地域農業の維持・発展に寄与できるよう努力します。



員外監事
川原 文夫

組合員及び准組合員の信頼に応えるためには、諸規程を遵守することが重要である。そのため員外監事として状況把握と意見指導を行いたいと思います。正確な事務向上を目指す監査を行いたいと思います。



代表監事
力武 健一

組合員及び准組合員の付託に応え、JAの健全な運営に資するため、監事として適正な監査執行に努めたいと思います。

《監
事》

農 産		
品 目	主要管理	管理のポイント
●水稲 (早期作) 夢しずく (普通作) 夢しずく ひなたまる さがびより 	○水管理	・「中干し」が十分に行えなかった圃場は、7月下旬頃から出穂期を迎えているので、間断かん水を行い、根の活力を促す。 ※収穫前の早い落水は、やせ米や品質低下の原因となるので、できるだけ遅く落水を行う。
	○病虫害防除	・カメムシの被害が懸念されるので、必ず『トレボン粉剤DL』を10a当たり3～4kg散布防除する。
	○収穫	・8月下旬頃が刈り取り適期になるので、適期に刈り取りが行なえるよう準備を行う。
	○水管理	・夢しずくは、「間断かん水」を行っていると思いますが、出穂期にはやや浅水管理とし、その後は間断かん水に努める。 ・ひなたまる・さがびより等については、7月末～8月初旬にかけて「中干し」を行い、その後、間断かん水を行う。 (1株22～25株程度確保できてから) ※中干しは、根への酸素供給、土中のガスの除去、無効分けつの抑制等の効果がある。
	○施肥	・夢しずくは、7月下旬～8月上旬に穂肥を10a当たり10～20kg施用する。 ※元肥一発肥料を使用した圃場は、穂肥の必要はなし。 ※最寄りの営農センター指導員の穂肥診断(幼穂長・葉色等)を受け、穂肥の時期と量を加減する。
	○病虫害防除	・7月下旬～8月上旬の一斉防除を行う。液剤散布はエミリアフロアブルとビームエイトモンカットを混用する。 粒剤散布は『ワイドパンチ豆つぶ』を10a当たり250g散布の防除を行う。 ※一斉防除前に、いもち病等の発生がある圃場は、臨機防除を行う。 ・田廻りを密に行い、病虫害の早期発見・対策に努める。
	○その他	・ヘリ防除の申し込み者は、圃場に防除旗を立てる。
●大豆 	○施肥・培土	・培土は、土壌水分をよく見て、株元が隠れるように行う。 効果：根粒菌が多くなり、生育旺盛、倒伏、湿害、雑草発生の防止。 ※一回目は、本葉3～4枚開いた時に子葉が隠れる程度行う。 ※二回目は、本葉6～7枚開いた時に初生葉が隠れる程度行う。
	○追肥	・生育不良田は、畝間に施肥を行い、直ちに二回目の土寄せを行う。 10aあたり、『硫酸』または、『BB480』のいずれかを、10kg施用する。 ・生育良好田については、開花期から10日ぐらゐの間に畝間へ花肥を施用する。
	○病虫害対策	・8月中・下旬頃にハスモンヨトウ対策として、『プレオフロアブル』(2,000倍)を10a当たり150L散布する。
	○排水対策	・圃場内の排水路の整備を行い、畝溝は必ず排水口につなぐ。

園 芸		
品 目	主要管理	管理のポイント
●タマネギ 	○育苗床の準備	・8月上旬にかけて堆肥・石灰の散布を行い、土壌消毒を8月中旬～下旬より1ヵ月間実施する。 ※土塊が粗いと生育不良を生じるので、天候に左右されないよう早期に取り掛かる。 ・それぞれ品種により播種・定植・収穫が異なるので品種特性を活かし作型分散を行なった中で、自分にあった作付計画を立てる。 ・セルトレイ苗については、各支所で取りまとめを行います。最寄の支所技術員まで提出してください。
●いちご 	○本圃準備	【疫病対策】 ・元肥と同時に『ユニフォーム粒剤』3kg/10aを混用します。 【定植準備】 ・8月中旬くらいまでには終了させる。高収量者の共通点は作業が早い。
	○育苗管理	【苗づくり目標】 ・10a当り7,000株を目標として作り上げる。
		【かん水】 ・暑い日が続いてもかん水は朝1回だけにします。昼の灌水はしない。
		【定植苗の管理】 ・葉色が濃くても体内窒素が十分とは限らない。切り離し後は定期的に液肥のかん注を行う。 『IB化成S1号』は採苗が終わったら1ポットに1粒入れる。(切り離す前から入れておいても良い) 8月中旬に『スーパータブレット』を1ポットに1粒入れる。
	【病害虫防除】	・たんそ病 ・タ立等の降雨後、熱気・湿度が育苗ハウス内にこもったら、寒冷紗をハウスの肩以上にまくり、湿度を逃がす。 理想は降雨前の防除。育苗ベンチ下の草刈りを行い、通風をよくする。週に1回は防除を行う。
		・イオウ病 ・観察を怠らず罹病株は除去する。
		・うどんこ病 ・気温上昇と共に葉の中に胞子が隠れる。治ったと勘違いのないように油断しないで定期的に防除を行う。
		・ダニ・スリップス ・葉の葉柄あたりを食害する。よく観察しよう。アグリメック1,000倍
●ブロッコリー	○植え付け準備	・8月下旬からの定植に合わせて早めに圃場準備を行う。
	○除草対策	・定植7日前までに『トレファノサイド粒剤』を10a当たり5kg散布する。
	○定植	・定植前後にかん水を行い、活着促進に努める。『液肥特2号』500倍を施用する。
●アスパラガス 	○下温管理	・妻面の開放、サイドの肩以上の開放を行う。散水も下温効果があるので効果的。
	○水管理・施肥	・かん水は夕方に行い、晴天日が続く時は数回に1回水量を増やし、土壌水分を確保する。 高温期は樹勢が低下しやすいので、液肥と根の活性剤を施用し樹勢回復に努める。
	○整枝管理	・採光・通風を図るために、適度な整枝を行う。
	○病虫害防除	・ヨトウムシ類・スリップス・ハダニ類に注意。ヨトウムシ類の耕種的防除として『コンフューザーV』の活用を図る。 肥料切れや樹勢低下に注意する。 ヨトウムシ類…プロフレアSC ヨトウムシ類、ハダニ…『コテツフロアブル』2,000倍 スリップス…『アドマイヤー顆粒水和剤』5,000倍 ・病気は予防散布に努める。『ダコニール1000』1,000倍 ※茎枯病は早めに抜き取り、圃場外へ持ち出す。 ※薬剤散布は10～14日間隔で行いましょう。
	○異常茎が多い場合の対策	・適正管理(かん水、温度、施肥、病虫害防除)の徹底を図り、根の活性剤及びアミノ酸系の液肥の施用を行う。



農作業だより 8月

果樹・特産		
品 目	主要管理	管理のポイント
●梨 	○収穫出荷	・熟度に注意しながら適期収穫を行う。 ・収穫したものは直射日光が当たらないようにする。 ・自家選別を徹底し、クレームゼロを目指す。
	○お礼肥	・収穫が終了したら、お礼肥(梨特別配合)を10a当たり3袋施用する。
	○台風対策	・棚の引き下げを行い、棚補強を行う。果実の玉吊り誘引対策を行う。
	○病虫害防除	【シンクイムシ】 ・収穫前使用日数に注意し合成ピレスロイド系剤を散布する。 【カメムシ】 ・発生予察に注意する。 【葉たんそ病】 ・幸水の収穫終了後に『ストロビーDF』3,000倍を散布する。(豊水を中心に散布する)
●ぶどう 	○収穫・出荷	・早朝収穫を厳守し、収穫物は直射日光や高温を避け保管する。裂果、腐敗果、脱粒、果粉溶脱等に注意し、自家選別を徹底する。
	○病虫害防除	【べと病】 ・『アピオンE』1,000倍 + 『ICボルドー66D』50倍
	○台風対策	・棚の引き下げを行い、棚補強を行う。
	○かん水	・急激な土壌水分の変化が裂果を誘発するため、こまめに少量かん水を行う。
●みかん 	○仕上げ摘果	・見落としの小玉果や傷果、病虫害果を摘果する。 ・着果は群状結果させ高品質果生産に努める。 ・全摘果部に残っている果実は早急に摘果する。
	○マルチ被覆の実施	・高糖系については、8月中旬までに被覆を終了し、果実品質向上に努める。
	○品質向上対策	【フィガロン乳剤の散布】 ・8月上・中旬 『フィガロン乳剤』3,000倍を散布する。(第2回目) 1回目散布より20日以上あけること。
	○枝つり	・枝折れ防止と着色促進のため水平よりやや下垂した状態で枝を固定する。
●うめ 	○新梢管理	・徒長枝を除去し樹冠内部の日当りを良くする。 ・垂れ下がった結果枝のせん除を行う。
	○土壌乾燥防止対策	・麦わら等を被覆し乾燥防止に努める。
	○病虫害防除	・ケムシ対策……『スミチオン乳』1,000倍 ・黒星病対策……『オーソサイド水和』800倍(必要に応じて散布する)
●キウイフルーツ 	○仕上げ摘果	・傷果・病虫害被害果の摘果、果梗が変色した果実を摘果する。
	○新梢管理	・徒長枝や混雑部の摘芯・誘引を行う。
	○台風対策	・棚線の緩み直し、支柱追加を行う。
	○病虫害防除	・腐敗果防止の『トップジンM水和剤』1,000倍、加用『セルバイン』500倍を散布する。 ・カイガラムシ多発園では『モスピラン顆粒水溶剤』2,000倍を散布する。
●茶 	○土壌改良	・有機物や改良資材を施用する。また踏み固められた畝間の活性化を図るため、30cm前後深耕を行う。8月中旬 『園芸特3号』10a当たり3袋
	○病虫害防除 (8月上旬) 混用散布 摘採前日数7日	【チャノホソガ、ウンカ、スリップス】 ・『テッパン液剤』2,000倍 【たんそ病】 ・『オンリーワンフロアブル』2,000倍
	○病虫害防除 (8月中旬) 摘採前日数14日	【ハダニ類】 ・『アグリメック』1,000倍

畜 産		
品 目	主要管理	管理のポイント
●肥育牛 	○夏場の飼育管理	今年も厳しい猛暑が続くので暑熱対策を行う。 ①換気や通気を行ない畜舎内温度に気をつける。日射病などにならないよう、寒冷紗等で直射日光を遮るようにする。 ②密飼いを避ける。(1頭当たり8㎡以上) ③低温で新鮮な水を常に十分飲水できるようにする。(ウォーターカップの確認) ④家畜の管理を十分行い、家畜の異常がないか観察を行う。 ⑤ビタミン剤の投与を早めに行う。牛が暑さで弱ってからでは遅い。(ウルソー、パンカルも投与、ネオドリンクも効果的) ⑥死亡牛の発生がないよう管理観察の徹底を図る。
	○ハエの駆除	・夏場になるとサシバエが大発生し家畜に大きなストレスがかかるので、殺虫剤の散布を行う。(牛ランピースキン病に注意) ・ネボレックス、エコスピード等の散布が効果的。 ・環境改善としてAP水を散布する。 ・牛舎周囲の草刈りも有効



令和8年産「伊万里梨」 梨産地120年の歴史

梅雨明けと同時に猛暑日となり天候に左右される日々が続く、生産者や農産物にとって非常に厳しい夏となることが予想されます。また、中東情勢等による生産資材や燃油高騰が生産者経営を圧迫し、日常生活では物価高騰が農産物消費（販売）へ大きく影響しています。

本年産伊万里梨は、数量2,000トン以上、販売金額13億円以上の計画必達を目指しています。春先からの気候変動により果実品質への影響が心配されましたが、順調に生育し7月3日（昨年7月2日）初出荷を迎えることができました。1年間の生産者努力が実を結び、「美味しい」「食味の良い」梨に仕上がっています。先陣を切る施設（ハウス）栽培はやや遅れての出荷となっていますが、全体的に前進傾向での出荷予想となっています。全国的には九州産地より関東産地などの競合産地の前進化が進んでいる状況です。他産地出荷前進化により産地間競合が激化し、昨年とは大きく違う販売環境になることが予想されるため、事前商談による販売先、価格確保強化を図り生産者所得確保に注力しています。

伊万里梨は全国でも有数の施設栽培の梨産地です。幸水梨を中心とした品種構成で、8月旧盆前に多くの梨を供給できる産地として、全国の販売先から強い期待と信頼を得ています。伊万里梨は7月の梨出荷数量全国1位です。先人達の大変な苦勞と知恵により全国の梨競合産地

に勝ち抜く産地として確立し、現在の生産者が更に産地力を強めています。近年気候の変化により主力品種の幸水梨栽培が難しくなっており、伊万里梨の特徴である幸水梨を軸に最後の品種まで販売を繋げるという販売組立てに変化が見え始めています。

しかし、伊万里梨が全国に多くのファンや強い販売先があるのもいち早く施設栽培での幸水梨を中心とした産地形成を行ったからです。全国的に8月旧盆前の幸水梨数量が減少傾向にあるからこそ、伊万里梨に対する期待が年々強くなっているのが現状です。伊万里梨の特色が活かせるチャンスと捉え、幸水梨を中心とした産地生産再構築を強化することが必須であり、生産者所得確保に繋がると切に感じます。

昨今の厳しい情勢やその状況下での生産者苦勞を踏まえて日々の販売業務に邁進します。不安定で先行き不透明な厳しい状況の中、産地維持や価格確保のためには苦渋の決断が必要な場面もあると思います。的確な判断で生産者メリットを追求し将来を見据えた取り組みを実践します。産地一体となり収穫の喜びを分かち合い、今年も「梨を作った良かった」と思えるように一緒に頑張りましょう！

流通販売課 池田貴広

あなたもチャレンジ！ 家庭菜園

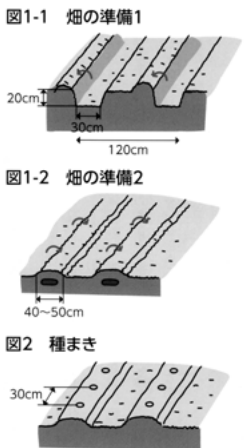
エンドウ マメ科の連作を避け、酸性土を改良する

エンドウには若いさやを食べるサヤエンドウ、実が大きくなり、みずみずしいさやのスナックエンドウ。若く充実した豆を取る実とりエンドウがあり、それぞれ目的に応じた品種を使います。発芽適温は18〜20度、生育適温は15〜20度で、冷涼な気候を好みます。

〔品種〕サヤエンドウでは「ニムラ白花きぬさや」（ヴィルモランみかど）、スナックエンドウでは「ニムラサラタスナック」（ヴィルモランみかど）、スナック753（サカタのタネ）などがあります。

〔畑の準備〕エンドウは同一の畑で連作すると生育障害が出やすくなります（いや地現象）。土壌酸度はpH6.0〜6.5が適しているため、4、5年はマメ科を作っていない畑を選び、酸性土を改良しましょう。

種まき2週間前に畑1平方m当たり苦土石灰100gを全面に施し、土よく混ぜておきます。次に、1週間前に畝幅120cmを取り、幅約30cm、深さ約20cmの溝を掘ります（図1-1）。この溝1m当たり化成肥料（NPK各成分10%）100gと堆肥1kgを入れ、土よく混ぜて幅40〜50cmの畝を作ります（図1-2）。



2本を残し、他は間引きします。なお、6〜9cmポットで育苗する場合、1ポット3、4粒を深さ2、3cmにまき、間引き2本にします。根鉢が形成された頃（本葉3、4枚）に植え付けます。

〔支柱立て・ネット張り〕草丈が約10cmの頃、約180cm間隔に高さ約180cmの支柱を立て、キュウリネットを張り、できるだけ早く巻き上げをネットに絡ませます（図3）。

〔追肥〕春先に生育の勢いが良くなり始めた頃と開花始め頃、畝の両肩に化成肥料を畝1m当たり約10g与えます。スナックエンドウ、実とりエンドウでは収穫期にも同様に追肥しましょう。追肥後は株元に土寄せをします。

〔病害虫防除〕さやができる頃からハモグリバエが多発します。登録農薬などを使用基準に従って防除します。うどんこ病も登録農薬で予防します。

〔収穫〕適期に合わせて収穫しましょう。サヤエンドウは、子実の肥大が始まる開花後15日前後に収穫します。スナックエンドウは、開花後25日前後に収穫します。さやが鮮緑色で厚みが約1cm、豆が肥大してさやの断面が円形に膨らんだ頃が目安です。実とりエンドウは、さやをむいたときに子実が軽く離れる頃に収穫します（図4）。

栽培カレンダー（エンドウ）

気候帯	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	備考
冷涼地						●	●	●	●	●	●	早まきは苗作りをする
中間地						●	●	●	●	●	●	苗作りもできる
暖地						●	●	●	●	●	●	

● 種まき ●● 苗作り ▲ 植え付け ● 生育 ■ 収穫

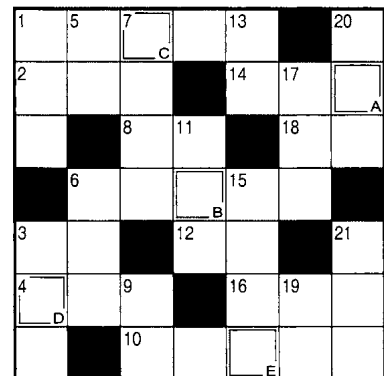
※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。



水瓶座【全体運】ハブニング運ですが想定外のうれしい出会いも。ポジティブ思考でいきましょう。良いことに巡り合えるはず（1/20〜2/18）【健康運】遊びでも疲れることが。何事も適度に行いましょう【幸運を呼ぶ食べ物】パプリカ

クロスワード Quiz

二重マスの文字をA～Eの順に並べて
できる言葉は何でしょうか？



【ヨコの力ギ】

- ① 令和8年は8月7日。
暦の上ではもう秋です
- ② 髪に結わえるもの
- ③ タンスや机などのこと
- ④ ギターは電気信
号で音を奏でます
- ⑥ 8月15日は——記念
日。平和を祈念しま
す
- ⑧ 初対面の人に——紹
介をした
- ⑩ ハンバーグに入れるタ
マネギの切り方
- ⑫ 多くは殻を持つ生き
物。実はウミウシも
この仲間
- ⑭ 炒った大豆をひいたも
の
- ⑯ 分度器で測ります
- ⑰ 納豆が引くもの

【タテの力ギ】

- ① 飛行機が飛び立つこと
- ③ 田んぼでゲロゲロ鳴き
ます
- ⑤ 土地の広さをあらわす
単位のひとつ
- ⑥ シャワシャワと蟬——
が降り注ぐ
- ⑦ パールともいいます
- ⑨ ヒヨコのための栄養が
豊富な部分
- ⑪ 小銭入れに入れます
- ⑬ ブイもこの仲間
- ⑮ 北海道と青森を結ぶ
——トンネル
- ⑰ 野球の出場メンバーの
こと
- ⑲ 金づちで打ち込みます
- ⑳ 嘘から出た——
- ㉑ 盆——、阿波——

応募方法

- ◆ はがきに次の要領で記入してください。
- ◆ 〆切り 8月14日 消印有効
- ◆ 発表 令和8年9月号誌上
- ◆ 「応募の中から抽選で10名の方へ
「全農商品券」をプレゼントします。
- ◆ 応募方法 ハガキに①答え②郵便番
号・住所③氏名・年齢④電話番号⑤
毎月読むページ⑥本誌へのご意見を
もれなく記入してください。
- ◆ あて先 〒848-0002
伊万里市立花町1290-1
JA伊万里「広報」係

答え&当選者



7月号の答えは「ミナミカゼ」
でした。28通のご応募があり、抽
選の結果、次の方が当選されまし
た。おめでとうございます。

脇田町 西本 文
脇田町 樋渡 喜代子
立花町 梅村 理恵
大川内町 森村 翔平
二里町 坂本 睦実
南波多町 加川 紀代美
大川町 平山 ヤエノ
有田町 筒井 敏規
久留米市 松尾 里佳
佐賀市 池田 美和子
(敬称略)



家の光

いけのひかり

9月号の主な内容

定価900円
(税込み)



特集

これからの夫婦のかたち

近年、同居が20年以上の「熟年離婚」が増えています。専門家によると「平均寿命が延び、子どもが独立すると定年後に夫婦で過ごす時間が長くなり、性格の不一致などからいっしょにすることに耐えられず、新しい人生を歩きたいと夫婦関係をリセットしようとするケースがめだつ」そうです。

夫も妻も、おたがいが幸せに過ごすための「これからの夫婦のかたち」について、さまざまな側面から考えます。

別冊付録

畑の「困った」を解決！ 家庭菜園お助けBOOK

手をかけて面倒をみても野菜がうまく育たないなど、家庭菜園における悩みの多くは、栽培に関する基本的な知識を知らないこと、あるいは、経験に頼って自己流で栽培を続けていることに原因があります。「気温・気象」「雑草・害虫」「土壌」「肥料」の4つに絞って、畑の「困った」を解決するための基本的な知識や対策について、『家の光』『畑の時間』に掲載された記事をおさらいします。

お申込みは、経済部ふれあい生活課(☎23-5575)、または最寄りの支所までお願いします。

JA伊万里ホームページ
<https://jaimari.saga-ja.jp/>

8月の「プレゼント」の紹介



JA伊万里 HP

スマートフォンや
タブレットで!!

8月のJA伊万里ホームページ「プレゼント」は、自然の恵みがいっぱい詰まった甘さ抜群の「巨峰」です。

ご応募の方は、ホームページ上にお名前、ご住所、電話番号、メールアドレス、そしてJA伊万里に対するご意見・ご感想を記入の上、8月末日までに送信してください。抽選で3名の方にプレゼントします。

皆様からのたくさんのご応募をお待ちしております。



「巨峰」

※写真はイメージです

ナイスガイ

大切にしているのは「徳の循環」です



吉永 晃徳さん (24)

西有田支所管内

プロフィール

2001年8月生まれ

星 座 しし 座

血液型 O 型

●仕事について

ぶどう農家です。現在は祖父が中心で、私は本格的に関わって5年目。来年以降、私がメインで経営を引き継ぐ予定です。品種はシャインマスカット、マイハート、富士の輝きを栽培しています。

●趣味・休日の過ごし方

高校時代はバスケ推薦で強豪校に進学し、今も週1～2回、夜に仲間と汗を流しています。キックボクシングやスポーツジムなど体を動かすことが好きです。読書（ビジネス系）の時間も大切にしています。

●理想の女性像は？

自分にはない視点や、新しい世界を見せてくれる人に惹かれます。

●農業・JAについて

祖父の言葉「徳を与えて徳を積む。徳を積んで徳を与える」を、仕事でも大切にしています。将来的には、ぶどう以外の果樹にも挑戦し、農園にカフェや加工場を併設して、生産から加工・販売・提供までを一貫して担える仕組みを整え、地域やお客さまの笑顔と幸せの総量を少しずつでも増やしていきたいです。



(後列左から) 堀田和枝、杉山洋子、小島恵子、瀬戸節子、松本雅子、前田有美
(前列左から) 前田ツヤ子、江口芳野、井手涼子、江口喜美子、浦田絹子、草場眞由美
(敬称略)

この3カ月間、いろいろなことがありました。現在はいずれも順調に生育しています。畑作業の休憩時には「モグモグタイム」を取り、皆さんニコニコ顔で楽しく話が弾みます。代表の江口喜美子さんは「皆さんと和気あいあいと過ごす時間が大事で、私は大好きです。南畑会を発足して良かったと思っています」と話しています。

おじゃまして〜す

女性部

畑で育む、笑顔の輪

レディーススカレッツ南畑会

南波多支所管内

令和8年4月より、レディーススカレッツ南畑会（会員12名）が発足しました。野菜づくりと仲間づくりを目的とする会で、発足から3カ月が経ちました。会員の皆さんの協力に加え、



女性部 & 食育活動フォトギャラリー



▲フレミズ虹色の開校式・交流会



▲レディースカレッジ
心と体リフレッシュコース



▲レディースカレッジ
母ちゃんの知恵袋開校式



▲中央なないろ学級ゴキブリ団子、
玉ねぎドレッシング作り



▲東山代明星学級
アームカバー作り



▲明日香の会



▲牧島小どろんこフェスタ



▲二里ひまわり学級ポットマット作
り



▲西有田フレミズ
リモコンラック作り



▲大川ドリーム会
出前講座いきいき脳活！音読教室



▲伊万里コスモス学級
梅漬け講習



▲中央伊万里梅漬け講習



▲西部梅漬け講習①



▲西部梅漬け講習②



▲東部梅漬け講習



▲北部梅漬け講習



▲南波多梅漬け講習



▲南部女大学落雁作り

四季の里大川

原田 綱雄さん (大川町)

◆原田さんの主な出荷物

玉ねぎ (超極早生 (トップゴールド)・早生 (早生7号)・中晩生 (ターザン))



▲夫婦で仮選別を行います



▲袋詰めして直売所へ出荷します

◆原田さんのコメント

65歳まで会社に勤め、退職後に玉ねぎ栽培を始めました。今年で12年目になりました。家の前の約15アールから始め、今は超極早生 (トップゴールド)・早生 (早生7号)・中晩生 (ターザン) を計約1.1ヘクタール作り、時期をずらして収穫し、労力と収益の安定化を図っています。畑をローテーションし、併せて病害虫対策を徹底。妻と出荷前の仮選別を行い、製品ロスを減らして品質を統一します。四季の里大川への出荷は1年前からで、当初は規格外品から。来季は早生7号の面積を見直し、試験品種「中早生2号」仮称に挑戦したいと考えています。農業は人とのつながりが大事だと常に感じており、仲間と機械や情報を共有し、水稻約3ヘクタールと両立しながら、無理せず長く続けていきます。四季の里大川でお待ちしています。



▲出荷前の玉ねぎ

畑の恵みをお届けします

直売所コーナー

手間ひまが生む確かな味



食育活動 (田植え) フォトギャラリー



▲大川内小学校



▲立花小学校



▲伊万里小学校



▲黒川小学校



▲波多津小学校



▲大久保保育園



▲久原保育園



▲東陵学園



▲南波多郷学館

